

事業の名称：春紅桜育成担い手養成事業

団体名	春殖地区振興協議会	事業費	238,534円
代表者	会長 錦織 弘秀	補助金交付額	200,000円

現状と課題

春殖地区では「花と緑のあふれた美しい住みよい地域づくり」の実現のため、商工会春殖支部、桜を育てる会、春殖地区振興協議会が中心となり、養賀ジョギングロード、山田地内、畑展望公園、学校付近に1,000本以上の春紅桜（河津桜）を植栽し育成管理している。近年、地区内の桜守も退任され、高齢化に伴い、桜の育成管理できる人材が不足してきている。

事業の目的

春紅桜を育成管理できる人材の育成を目的とし、担い手の確保に努める。

実施内容

◇実施状況

桜の育成管理については植栽・接木・消毒・肥料散布・剪定など様々な作業がありますが、今回の事業では肥料散布と剪定作業を中心に行いました。また本場、静岡県河津町の資料による勉強と、1月25日には、雲南市の桜守を講師に迎え、育成管理全般についての河津桜管理研修会を行いました。参加者からは、苗木の作り方、剪定の年数や木枝の間隔、草刈の方法、肥料の成分等たくさんの質問がありました。育成状況の確認の中、2月25日には開花宣言がされ、3月中旬には満開となりました。

◇成果と課題

春殖地区振興協議会（生活環境部）と河津桜を育てる会を中心に取り組んだ事業ですが、高齢化等により育成管理ができる人材が減少している中、地区内の若手の庭師の参加意思も確認でき、今後の活動に貴重な担い手が獲得できたと思います。

桜の花の咲くのは少しの期間ですが、育成管理は年間を通して行います。平成13年からの植栽の後、伐採を余儀なくされた桜もあります。日々、育成管理について勉強し、桜にとって良い環境が保たれるよう、綺麗な花が咲くよう管理していきたいと思います。

